

# 岩手郡医報

昭和58年9月—No.14—

編集／発行

岩手郡医師会



## 岩手山と焼走り熔岩流（特別天然記念物）

今から約264年前岩手山が噴火した際に、岩手山東腹、海拔1,200メートル附近に噴流した熔岩流であり、3ヶ所の噴出口から末広がりに3.5キロメートルにも及び、末端の幅は、1.5キロメートルにも及ぶという鬼気迫る焼走り熔岩流である。また、ここは特別天然記念物に指定されているために、熔岩の持出しが禁止されている。

近くには樹令90年の南部赤松林の中に1,200人収容出来るといわれる「町営焼走りキャンプ

場」があり、これからも家族づれや青少年のキャンプ村があちこちにみられるシーズンとなる。  
(西根町内より車で 8.8キロメートル、15分)

また、昭和49年2月、西根町内に初めての温泉開発に成功し、「岩手山焼走り温泉」と命名され、昭和51年6月に「いこいの村いわて」としてオープンされた。

(嶋)

# 行事関係報告

## I 日医関係

### 1) 「ピーぶる」について

前号記載の如く日医の執念に対し放置す  
只し県医師会に於て調査したる結果15郡市  
医師会中1都市医師会丈全員購読する為當  
初予算に掲上したる医師会ありとのこと。

2) 5月6日日医より「ピーぶる」について  
一括購入の上全会員にて對外広報活動用に  
申し込まれ度旨催促あり。  
一括購入せば年間の費用下記の通りなりと  
のこと。

### 記

#### 1年分一括購入価格

50部	168,000円
100部	336,000円
200部	672,000円
500部	1,680,000円
1,000部	3,360,000円

尚一括購入せざる際は医師会として對外広  
報活動の現況を至急報告せられたき旨要求  
あり。

## II 県医関係

イ) 4月13日第15回産業医講習会について  
ロ) 総会における表彰者の内申について  
ハ) 4月19日硫酸ポリミキシンB使用にかか  
る調査の実施及び措置について

ニ) 5月16日県医総会に於ける特別講演の講  
師決定の旨連絡あり。

講師 科学技術庁顧問 武見太郎先生  
演題 医療の過去、現在、未来

ホ) 5月19日第1回岩手県医師会臨床検査精  
度管理セミナーについて

ヘ) 5月25日本年度総会に於ける表彰者及前

年度総会後に於ける叙勲者並に物故者の通  
知あり。総会の「プログラム」作製の資料  
として、総会終了迄全会員の健康を祈る。

ト) 5月28日社会保険診療報酬審査委員(内  
科関係)決定の旨通知あり。

チ) 7月16日岩手県医師会主催海釣り大会が  
釜石市小白浜海岸に於て実施せらる。

当医師会は毎年参加の上優秀なる成績を收  
めあるも本年度は県医総会並県医学会開催  
の担当医師会なるため残念乍ら不参加と決  
定す。

リ) 7月25日「レセプト」と処方せんの照合  
審査についての通知あり。

ヌ) 7月28日-30日の三日間東京農協ホール  
に於て産業医講習会開催せられ当医師会の  
宮杜亨、八角正司、高橋牧之介の三先生出  
席す。

ル) 8月12日有機浴解剤取扱者の健康調査に  
ついて協力方依頼あり。

## III 保健所関係

イ) 5月9日結核医療の公費負担の申請につ  
いて

ロ) 5月31日岩手保健所の新築落成式典挙行  
せらる。当医師会より会長、土谷、近藤両  
副会長、熊谷、佐藤(郁)、坂井、岡本の  
諸先生出席し会長より祝詞を述べ。

## IV 医師信金関係

イ) 6月3日金融関係の月1回週休2日制に  
ついての通知あり。これは去る5月13日銀  
行法等に關係ある機関全部について政令が  
改正公布されたるための本年は8月の第二  
土曜日が休日になるとのこと。すべての金  
融機関が今后毎月第二土曜が休日となる。

ロ) 6月25及26日の第35回県医総会並に第70回岩手医学会(春季)総会に当信金より150,000円に物品(タオル)の恵興に預る。感謝、多謝。

#### V 郡医関係

- イ) 当医師会は本年4月以降全力を第35回県医師会総会並に第70回岩手医学会(春季)総会の開催担当に結集す。
- ロ) 5月3日「テレビ」番組「健康で長生きするために」の成人健康「シリーズ」30枚を送付され下記の如く配布する。

#### 記

4枚宛 岩手、零石、西根、葛巻、  
玉山、滝沢  
3枚宛 松尾、安代

ハ) 5月14日午後2時より西根町民センターに於て定款改正に伴う役員増員の選挙のため臨時総会を開催す。

出席者30名 委任状35名

二瓶理事の司会にて開催役員選挙は下記の通り決定す。

#### 記

##### (1) (増員役員)

(1名) 副会長 宮杜 亨  
(3名) 理事 佐藤 郁郎  
上田 靖彦  
高橋 孝

(1名) 監事 伊藤 稔二

##### (2) 裁定委員は下記の如く決定す。

###### (a) 会長指名

副会長よりの1名 近藤 純生  
理事よりの1名 坂井 博毅

###### (b) 総会にて選出の3名は

高橋 司  
熊谷小次郎  
角田 則子

以上にて郡総会を終了し引き続き県医総会並

に県医学会(春季)総会開催担当について嶋理事の司会にて協議会を行う。協議会は総会時の業務分担を定め解散す。

特に本年度県医師会総会並県医学会(春季)総会開催を担当するに当たり第二支部内会員の一層の努力をお願いいたしたい。

ニ) 6月14日県医理事及都市会長の合同会議、県医政連の合同協議会あり。

会議の内容下記の通り。

#### 記

1. 日時 昭和58年6月14日(火)  
午後2時30分より
  1. 場所 岩手県医師会館 中会議室
  1. 報告
    - (1) 岩手県と岩手県医師会との打合会について
    - (2) 医業経営実態調査について
    - (3) 有機溶剤取扱者の健康に対する影響の実態調査について
    - (4) がん患者実態調査について
    - (5) 心電図自動解析電送システムについて
  2. 協議
    - (6) 臨床検査精度管理セミナーについて
    - (7) 第1回岩手県学校医大会について
    - (8) グループ保険の更新について
    - (9) 社保審査委員の詮衡経過について
    - (10) 保険診療報酬審査委員選出についての要望について
    - (11) 「びいぶる」の発行主旨について
    - (12) 日母岩手支部役員改選について
    - (13) その他
      1. 協議
        - (1) 第35回岩手県医師会総会並びに第70回岩手医学会春季総会について
        - (2) 岩手県医師会総会における表彰者について
        - (3) 文書料等について

- (4) 昭和59年度岩手県医師会総会の開催時期及び場所について  
 (5) 昭和57年度岩手県医師会歳入歳出決算について  
 (6) 昭和57年度岩手県医師会グループ保険会歳入歳出決算について  
 (7) 昭和57年度岩手県医師会医療従業員退職金積立事業歳入歳出決算について  
 (8) 昭和58年度岩手県医師会歳入歳出第一次補正予算について  
 (9) 第94回岩手県医師会臨時代議員会次第について
- ホ) 郡内町村毎学校医報酬を調査したるに下記の如し。

## 記

報酬区分	基準報酬	加算報酬	摘要
零石町	58,000円	生徒数 × 250円	
	二校目 25,000		
	三校目以上 0円		
	眼科耳鼻科 1校付	"	
	72,000円	× 50円	
滝沢村	63,500円	" × 50円	
玉山村	60,000円	" × 55円	
岩手町	58,000円		生徒数により 基準報酬に差有
	70,000円	" × 50円	
葛巻町	24,000円		1校に付
西根町	60,000円	" × 70円	
松尾村	85,000円	" × 110円	
安代町	25,000円	" × 200円	

ヘ) 6月19日西根町民センターに於て役員並第二支部会員の合同協議会を開催し一週間後にせまつた総会並医学会の開催担当について協議を行う。



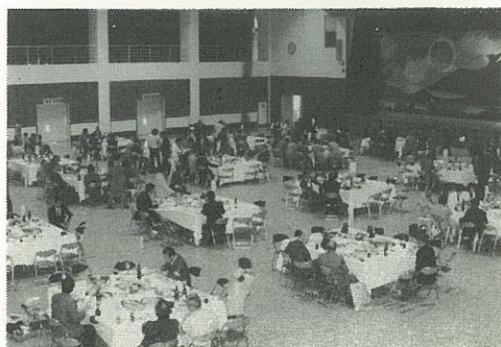
会場(西根町民センター)



受付



八木岩手県医師会長挨拶



総会から懇親会へと………

ト) 繫温泉病院理事長吉田泰二氏により「マイクロバス」にて零石町内を廻り患者を輸送致し度旨文書により又口頭にて町内養護老人ホーム松寿荘（実質県立、現在県福祉事業團に委託経営）より毎日「マイクロバス」にて患者を輸送致し度旨申し入れあり。

本申し入れに関し下記の如く回答すると共に盛岡市医師会長三浦新也氏に電話にて連絡す。

尚社団医療法人盛岡繫温泉病院理事長吉田泰二殿よりの申入れ書並に之に対する回答書は次の通り。

後日三浦盛岡市医師会長より電話にて吉田泰二氏に注意したるに繫温泉病院は「マイクロバス」による患者輸送は行なわないとの連絡あり。

昭和58年 6月30日

岩手郡医師会

会長 上野精三殿

社団医療法人  
盛岡繫温泉病院  
理事長 吉田泰二

#### 自家用バスの運行について

当盛岡繫温泉病院の運営につきましては何かと御配慮賜り厚く御礼申しあげます。  
つきましてはこのたび零石町七ツ森地区及び十文字地区並に中沼地区住民から盛岡繫温泉病院に通院するための交通機関がなく老人並びにリハビリテーションを必要とする患者にとって相当の苦痛を伴うので盛岡繫温泉病院に通院する患者に限って毎週2回位当病院備付のマイクロバスを患者送迎のため運行願いたい旨当該地区的行政長を通じて要請がありましたので地域住民の医療確保のため要請に応じて自家用バスを別紙経路図のとおり運行することに致しましたのでご賢察下さるようお願い申しあげます。

岩手郡医第21号

S 5 8. 7. 2

社団法人盛岡繫温泉病院

理事長 吉田 泰二 殿

岩手郡医師会

会長 上野精三

昭和58年6月30日附貴殿より送付になりました自家用バス運行についての件、貴殿は当医師会に所属しておらず盛岡市医師会に所属されておりますので當会に於いて受取るべき筋合のものでなきため返送いたします。

尚、盛岡市医師会と協議なさるべきと思料いたします。

尚、同時に口答にてお話しのありました松寿荘の件は零石町役場の担当責任者に連絡致しました。処が最近松寿荘院長と零石町長との間で診療契約をなされたとのことです。

これは當会の「タッチ」すべきものでなく、貴殿・松寿荘院長・零石町長の三者で協議すべきものと思料されますので申し添えます。

チ) 7月8日県医師会親睦野球大会に於ける表彰選手を下記の通り報告す。

#### 記

##### 10年選手

近藤 純造	高橋牧之介
佐藤 郁郎	宮杜 亨
西島 康之	宮沢 譲
秋浜 晃	

リ) 7月11日郡内及二戸郡安代町養護教諭に対し参考文献を送付す。

ヌ) 7月16日県医師会館に於て郡医師会学校医部会を開催す。各町村より学校医代表1名宛並秋浜、宮杜両先生出席。

尚当日の協議内容は昭和56年に調査せる学童の扁平足の追跡調査について

ル) 県医師会の調査に係る救急医療体制（一

次及二次)の調査に次の通り回答す。

①初期救急医療(一次)について

①休日夜間診療所

なし

②在宅当番医制

あり

○施設数 6

零石、滝沢、玉山、岩手、西根(松尾を含む)、葛巻

○実施日

休日、祭日、年末年始

○開始年月日

早い町村は 昭和45年

遅い町村は 昭和53年

○診療時間

自 午前8時30分

至 午后5時00分

○診療科目

内科、外科、小児科

但し当番医師の専門外のときは盛岡市内の専門医に連絡の上送院す。

○制度に対する助成の概要

補助金のみ

その他は全くなし

○夜間の診療については現在協議中。

②二次救急医療

○病院群輪番制

なし

③救急に関する協議会等の設置状況について

て

○協議会

なし

但し協議会の設置なきも毎年1回管内8ヶ町村保健課長、8ヶ町村消防分署町郡医師会役員、役員なき町村は代表医師1名合計33名出席の上救急医療に関する協議会を開催し救急

医療、救急災害対策を協議もあり。

会議の主導は医師会。

④集団災害について

○訓練実施 なし

○防災会議参加 なし

○医師会の救護組織 なし

但し救急、集団災害に対処し得る如く各支部に於て協議計画しあり。各町村の対応意の如くならず。

⑤其の他の問題点

現在郡医師会として岩手郡救急災害医療対策要綱を立案中にして明年3月迄に成案の予定。

又、8ヶ町村共救急災害対策は冷害旱魃、水害等に対する要綱はあるも事医療に関しては対策なきに等し、只一部町村営の医療機関を設置しある処は救急災害時の医療対策は町(村)立病院(診療所)之を担当するとあるのみなり。

- 5) 7月23日県医師会に於て開催の医事紛争対策研修会に下記の者出席す。

記

宮 杜 亨

土 谷 邦 彦

近 藤 純 造

- 6) 7月24日滝沢二中グランドに於て、8月21日の県医師会親睦野球大会出場の準備として市内薬店従業員と練習試合を行う。敵方の勝利に終る。

- 7) 8月6日前記練習試合を郡内校長会と行う。前回同様医師会チームのメンバー揃わず善戦むなしく前回同様敵方の勝利となる。相手をなされた薬店の若い従業員並に老齢の校長会の各位に厚く感謝すると共に審判の労をとられ且つグランド整備をなされた滝沢二中野球部選手諸君に厚く御礼を申し上ぐ。

8) 8月22日郡内及二戸郡安代町内の養護教諭に対し参考文献送付す。

9) 会員の入退会

(イ)入会

及川忠義	東八幡平病院に 岩手医大より
孔泰寛	東八幡平病院に 水沢市美希病院より
姜一泳	東八幡平病院に 三重県志摩町立病院より

(ロ)退会

鈴木 功	東八幡平病院より 八戸市方面に
久慈有一	退会 (県立沼宮内病院長) (病気静養のため)

10)弔事

6月14日 上田靖彦様御尊父様御逝去

7月22日 西島康之様御母堂様御逝去

8月9日 高橋 司様御尊父様御逝去

8月15日

当会監事一方井診療所熊谷文五郎先生には8月15日夜急逝せられました。  
謹んで哀悼の意を表します。

熊谷先生には昭和40年4月一方井診療所にて開業以来約19年地域只一人の医師として地域の保健衛生の向上に又学校保健、予防接種等に献身的御努力をなされました。

8月18日午後1時より火葬、8月20日盛岡市大慈寺町長松院に於て葬儀が営まれました。火葬並に葬儀には当会より会長外会員多数出席せられました。

**VII 第35回岩手県医師会総会並第70回岩手医学会(春季)総会について**

岩手県医師会の最大行事である総会並医学会(春季)総会の開催は各都市持廻りにて開催されて居ります。只県医師会館の落成した翌年だけは会館の落成を記念して県医師会が主催いたしました。

今日迄県内各都市医師会中闘会を担当しない医師会は三医師会丈となりこの内で当岩手郡医師会は最も大きな医師会であります。数年前より郡医師会の総会毎に開催について協議いたして居りましたが御承知の如く場所の問題で開催の担当を致しかねて居りました。処が昭和57年1月西根町民センターにて健康教育講座を開催いたしました際誠に立派な会場があるので気付き昭和58年度開催の担当に立候補いたした訳です。

以来1年6ヶ月の間役員各位並第二支部会員の絶大なる御奉仕に加えて西根町長始め西根町役場の各位の暖き御援助により開催担当にこぎつけた次第です。

参加会員各位より会場の立派なこと、又懇親会場もすぐ近くで併せて広大な駐車場が附設せられ今日迄の総会場として最大級の会場なりとの御褒めをいただいた訳です。

開催を担当し無事終了いたしました事に対し西根町長さん外西根町役場職員の皆様又郡医師会役員第二支部会員の各位に厚く御礼申し上げます。

次に会の概要について簡単に記載いたします。

①代議員会

6月25日午后2時より竜ヶ森レックに於て開催さる。

②代議員会後の懇親会

代議員会終了后午後6時より竜ヶ森レックにて開催、代議員全員県医師会執行部並当医師会役員全員に西根、松尾、安代の各町

長出席す。席上松尾村長並当会会長より歓迎の挨拶をなす。

天気予報によれば明26日雨後曇なり。  
併し宿泊場所は山の上なるために出席各位の精進を期待す。

○県医総会並に県医学会(春季)総会

天気予報に反し一点の曇もなく晴天なり。  
前夜レック宿泊の各位の精進に感謝す。  
会は共に別紙のプログラムの通り、順調にすすみ予定通り懇親会に入り午後3時30分異常なく終了す。  
長年に亘る懸案も無事終了した次第です。  
尚会議の諸書類を別紙添付す。

- A 岩手県医師会総会次第 (A)
- B 総会における表彰者並叙勲者 (B)
- C 物故者名簿 (C)
- D 医学会(春季)総会次第 (D)
- E 懇親会並受賞者祝賀会次第 (E)

A 第35回岩手県医師会総会次第

日時 昭和58年6月26日(日)  
場所 岩手郡西根町市民センター  
司会 常任理事 及川正信  
9:00 1. 開会の辞 副会長 加藤十郎  
2. 物故会員に対する黙祷  
3. 岩手県医師会長挨拶  
会長 八木義郎

4. 報告

(イ) 昭和57年度庶務報告

常任理事 佐藤久芳

(ロ) 昭和57年度事業報告

〃

5. 議事

昭和56年度歳入歳出決算承認

常任理事 佐藤進

6. 会員表彰

(イ) 表彰状並記念品贈呈

(ロ) 祝詞 議長 滝田昌之

④ 受賞者代表謝辞

10:00 7. 岩手県医師会総会記念講演

後藤新平の世界観

岩手県環境保健部長

小野寺伸夫

(座長 岩手県医師会長)

10:50 8. 閉会の辞 副会長 加藤十郎

B 第35回岩手県医師会総会に於ける

表彰者氏名	所属医師会
浅沼 農吉	盛岡市医師会
逢坂 義計	"
柿沼 奎郎	"
高松 正	"
柄内 巍	"
石井 正知	紫波郡医師会
平井 彦三	"
三条 善郎	"
伊藤 幸助	花巻医師会
小田島 順	"
松浦 秀広	和賀医師会
折居 協二	"
鈴木 典郎	水沢医師会
昆野 正三	気仙医師会
水野 尚武	"
橋本 照治	釜石医師会
大坂 勝義	"
内藤 貞勝	宮古医師会

〔叙勲者名簿〕

勲四等旭日小綬章	佐々木一夫(和賀)
勲三等旭日中綬章	瀬田孝一(盛岡)
勲三等瑞宝章	又重常雄(盛岡)
勲五等双光旭日章	佐藤保爾(東磐井郡)
" "	森口徳郎(和賀)
" "	杉田武(江刺)
" "	高松正(盛岡)
" "	内藤貞勝(宮古)

## C 岩手県医師会物故者名簿

自昭和57年 6月28日

至昭和58年 6月25日

氏 名 死亡年月日 所属医師会

和田 安民 S 57. 7. 14 盛岡市医師会

須原 耕三〃 57. 7. 5 一ノ関医師会

南 吉郎〃 57. 9. 28 水沢医師会

熊谷 利男〃 57. 9. 30 東磐井医師会

文 履 福〃 57. 12. 5 水沢医師会

河合 繁平〃 58. 1. 2 宮古医師会

菅原 正直〃 58. 1. 22 一ノ関医師会

亀井 碩次〃 58. 2. 17 水沢医師会

山田 義夫〃 58. 2. 27 盛岡市医師会

菅 信郎〃 58. 3. 6 盛岡市医師会

菊池 節夫〃 58. 5. 19 盛岡市医師会

岡本 治雄〃 58. 6. 5 気仙医師会

## D 第70回岩手医学会（春季）総会次第

11:00 1. 開会の辞 副会長 川名 林治

2. 会長挨拶 会長 小原喜重郎

3. 庶務報告 幹事 佐藤 誠

4. 議事 予算、決算の承認

11:20 5. 特別講演 (イ) 新生児医療の進歩

岩手医大小児科教室教授

藤原 哲郎

(座長 岩手医学会評議員)

小川 英治)

(ロ) 非経口的栄養法の現状

岩手医大第一外科教室教授

森 昌造

(座長 岩手医学会幹事)

佐藤 進)

12:20 6. 閉会の辞 副会長 川名 林治

(休憩、軽食、岩手医学会評議員会)

13:00 7. 終了

## E 懇親会並びに受賞者祝賀会

日時 昭和58年 6月26日 (日)

場所 岩手郡西根町体育館

司会 岩手郡医師会理事

高橋牧之介

13:10 1. 開会の辞 岩手郡医師会副会長

土谷 邦彦

2. 挨拶 岩手県医師会長

八木 義郎

3. 歓迎の辞 岩手郡医師会長

上野 精三

4. 叙勲者代表挨拶 宮古医師会 内藤貞勝

5. 次年度開催地会長挨拶

紫波郡医師会長

小早川源郎

6. 乾杯

7. 祝宴

8. 閉会の辞 岩手郡医師会副会長

近藤 純造

④総会並びに医学会（春季）総会出席数

別紙Eの如し

⑤尚総会の特別講演の講師として科学技術  
庁顧問武見太郎がお出になられると連絡  
あり且宿泊は現地宿泊を希望するとの事  
宿泊の問題、警護の問題、並に地域に対  
するPRの諸問題等全て万全の準備をいたしました。又余暇を利用して八幡平散  
策等についても。

尚武見先生来西問題について各新聞紙よ  
り色々とお叱りをいただきました。曰く  
県民会館位の収容力を有する建物を前も  
って作って置かなければ医師会の怠慢な  
りと、いやはや、その他色々噴慨するも  
大人気なし。

⑥この件についても県医執行部より絶大な

る御指導に預る。

⑩ 6月18日急遽武見先生御病気のため来西不可能との連絡あり。甚だ残念なり。

⑪ 武見先生来西不能に伴い講師は環境保健部小野寺伸夫と決定の通知あり。

⑫ 武見先生来西不能に伴い宿泊、警護その他関係諸団体に対し実情を記載の上御詫びの文書を発送す。

#### VII 第35回岩手県医師会親睦野球大会出場について

8月21日一関市医師会担当にて一関市内4球場に於て挙行せらる。

岩手郡医師会チームは既に前述の如く2回に

亘り練習試合をなしたる上あわよくば優勝を夢見て前夜主力は平泉町金鶏荘宿泊の上大会に参加す。

開会式に引き続き行なわれたる表彰式に於て当会より前述の通り近藤総監督以下7名の選手が10年出場選手として表彰の栄に浴す。

試合の詳細については次号に詳報す。

#### VIII 他医師会関係

8月10日江刺市医師会より休日、時間外診療の状況調査表の送付あり。

#### IX 8月22日日曜1日人間ドックについて会員に通知す。

#### 編集後記

異常低温・凶作などというマスコミの報道に心を暗くしたり、短期間であったが炎暑に汗を流したりしている間に、今年の夏も過ぎ去った。会員各位ご健在にて、爽快な初秋を迎えるよう祈る。

○

本医報13号の発刊は6月だったので、3ヶ月を過ぎて、今やっと14号の発刊となつた。

このように発刊の遅れたのは、いろいろの事情からであるが、暑さのため編集子の心のネジが少し弛るんだせいもあるか知れないと思い、ここでお詫びいたします。

○

3ヶ月の間に、行事関係の報告事項が多量に集積したので、本号は報告事項だけとし、他の記事は一切省くことにした。

折角原稿を送って下さった各位には、申訳ない次第ですが、いただいた原稿は、次号から遂次掲載することにしますので、ご了承願います。

なお本号に掲載の行事関係報告の原稿は全部会長が執筆したものであります。

会長の労に対し感謝と共に敬意を表します。

○

本号最後の締め括りの言葉として、次のことを述べます。

本医報編集委員として、編集に尽力され、また、郡医師会のため、地域医療のため、誠心誠意努力して下さった熊谷文五郎先生の御逝去に対し、衷心より哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

(高橋)